

一般質問

安江
議員

白浜五地区太陽光発電事業について

質 昭和60年9月に地域振興基金条例が制定されたが、その経過と原資をお尋ねします。

答 松浦火力発電所の建設に伴い、公共補償費と地域振興費として九州電力及び電源開発の2社と協定を結び16億5千万円を受け入れています。

質 昨年8月23日に市長室にて、白浜五地区でも太陽光発電事業をやる、地域振興基金を事業に形を変えて地域の皆さんが使えるようになるのでは、との発言をされたのか。

答 白浜五地区連絡協議会から、他の自治会の例を参考に太陽光発電事業を取り組むことができないかとの相談がありました。

質 連絡協議会が事業の企画提案募集をし、応募5社の中から多摩川ホールディングスをパートナー企業に決め、九電や国に事業の諸手続きがされていることを知っていたか。

答 事業者のことも、その後の作業のことも承知いたしておりません。

質 議会も市長も知らない中で、企業が決められ諸手続が進められていることは正しいのか。

答 このことは連絡協議会で取り組まれたことと認識しています。

質 補助金1億8千万円の交付を受ける連絡協議会を市は指導、監督、監査できるのか。条例施行規則に違反はしないか。

答 事業利益が白浜五地区の振興にどのように反映されているのかは、当然見ていく必要があります。また規則の違反には当たりません。

大村競艇場外舟券売り場について

質 場外舟券売り場の話はどうなっていますか。

答 6月20日に大村市モーターボート競争事業管理者から市長、議長、今福地域市議にお話があり、滑栄地区でも説明会が行われております。

質 市長は滑栄地区の対話集会の中で場外舟券売り場ができれば地区費を払わなくてもよくなる、と発言されたのか。

答 発言の事実はありません。

質 広く市民の意見を聞いて決めるべきではないか。

答 滑栄地区の判断を注視したい。予定地は土砂災害の危険な地域ではないのか。

答 地滑り地域の指定はありません。

質 ギャンブル依存についての見解を伺います。

答 ギャンブルへの強い欲求や執着があつて自制できない状態にあることだと認識しています。

質 教育委員会としてはどのように検討したか。

答 このことに関しては、未だ関知していない状況です。

一般質問

宮本
議員

電源立地地域対策交付金事業について

質 松浦市内の火力発電所でつくられた電気が県外に送電されるとき、その電気移出货量に一定割合の単価を掛けた交付金が国から長崎県に交付されている。昭和56年から交付され約170億円が県に入っており、この内に松浦で発電した移出货量の相当額は約100億円になっている。松浦市が有利に使える交付金でありながら、僅か3億円の交付実績しかない。使い道としては、企業導入、産業活性化、地域活性化、観光などいろいろな事業に活用できる。本市はこの交付金活用のアイデアを県にもっと出すべきだと思う。考えを伺いたい。

答 交付金の趣旨と性格からも本市がもっと積極的に活用できるものと認識しております。県は、松浦市が国直轄の交付金を受けていたことから県全体の取り扱いとしておりまして、24年度までで本市の直轄交付金が終わったことから、県も松浦市に対する活用を理解されています。25年度には東部工業団地の造成工事に1億8300万円を活用することが

できました。ご指摘のとおり、本市も今後、具体的な事業を掲げて、積極的に財源の確保に取り組んでまいります。

松浦市のふるさと納税について

質 安倍政権は、故郷や応援したい自治体に寄付するふるさと納税の仕組みを地域活性化のために税控除を見直そうと検討している。平戸市は、今年の納税目標額を3億円とし、8月で既に2億2千万円の納付があつたそうです。松浦市もこれに倣い、早急に担当者を選任し、お返しの特産品パンフレット作成やそのお返しの率を決めるなどして積極的に取り組むべきと思うが、今後の方針について具体的にお聞かせください。

答 ふるさと納税については、納税して頂いた方に特産品を贈ることによって松浦市を広くPRでき、また地域経済にも波及効果をもたらします。積極的に取り組む必要があると考え、関係課に検討を指示し、本市の魅力ある特産品を発信できるよう内容の取り組みを進めております。今議会にその関係予算を計上しておりますのでご審議頂きたいと思っております。